

ごあいさつ



平素より気仙沼信用金庫に対しまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当金庫の経営方針や業務内容、財務内容をはじめ、各種地域支援の取組みをご理解いただくため、「気仙沼信用金庫ディスクロージャー2023」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いです。

さて、令和4年度を振り返りますと、国内経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある一方で、世界的なエネルギー・資源価格の高騰や、欧米各国の金融引き締め等による世界的な景気後退懸念のほか、金融市場では金利や為替リスクの顕在化など大きな変化を感じた年でありました。

また、当地域においては、基幹産業である漁業では、昨年から一転してカツオの不漁や、サンマ・秋サケなどの記録的な不漁の継続など水産加工業のみならず、関連産業をはじめ地域全体の先行へ不安を残す形となりました。その一方で、2021年12月に全線開通した三陸沿岸道路の効果のほか、「ウィズコロナ」の浸透と行動制限の緩和により、気仙沼市の観光入込数が前年を上回るなど明るい兆しも見えた一年でもありました。

そのような中、当金庫運営におきましては、これまでの東日本大震災からの復興および創生推進はもちろんのこと、ポストコロナを見据えた取組の推進等を掲げ、金融円滑化や事業者の本業支援など役職員一丸となって取り組んで参りました。

令和5年度におきましても国内での金融機関を取り巻く経営環境は、今後も厳しさを増すものと思われまます。またその中において当金庫の営業環境につきましても、人口減少による地域経済の縮減懸念をはじめ課題が山積しておりますが、これまで以上に金融仲介機能の発揮やSDGsの取組などを実践していくことで地域の持続的発展に役職員一丸となって貢献してまいり所存ですので、会員の皆様方には、なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員皆様方のご健勝での益々のご活躍とご隆盛を心よりお祈り申し上げます、ごあいさつと致します。

令和5年6月

気仙沼信用金庫
理事長 小山 栄太郎

